

式辞のあと、町議会議員及び執行機関の委員を永年にわたり歴任された方を代表して越野幸雄さん、各種委員会を永年にわたり歴任された方を代表して日下徳一さん、町政振興に特に功績のあった方を代表して多摩市永山地区と置戸の青少年ふるさと交流事業に尽くしてきた同市の元市議会議員菊池富美男さん、開町100周年にあたり特に功績のあった方を代表し佐々木梅治さん、多額の寄付をした方を代表して兵庫県芦屋市の盛清久さんに功労表彰が贈られました。80歳以上で町内に引き続き70年以上住んでいる永年在住町民を代表して佐渡仁志さんには感謝状の贈呈が行われました。

続いて武部新衆議院議員ほか来賓の方々から祝辞、東京都多摩市長のメッセージが披露されました。

最後に佐藤町議会議長が未来への誓いとして「社会教育による人づくりを基本として、おけと夏まつり人間ばん馬大会や、オケクラフトなど、个性的でなおかつ先駆的な活動に取り組んできたが、先人の尊い開拓精神を受け継ぎ、全ての町民の幸せを願い、1人ひとりの知恵と力を出し合って、明るく豊かで住みよい町づくりを目指して、良きふるさと置戸を後々の世代に伝えるよう、互いに努力することを、ここに誓います」と読み上げました。

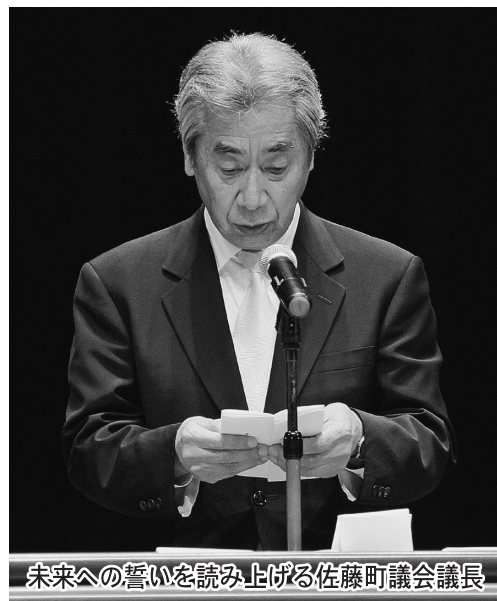
祝賀会では置戸詩舞の会の皆さまの「お祝いの舞」の披露で幕を開け、出席者全員で1世紀の節目を祝いました。



表彰を受ける越野幸雄さん



表彰を受ける佐々木梅治さん



未来への誓いを読み上げる佐藤町議会議長



置戸詩舞の会の「お祝いの舞」



1世紀の節目を祝い乾杯